

常任委員会の活動 産業建設常任委員会

平成26年10月29日に先進地研修を行いました。

長野県伊那市 下水道接続率向上の取り組みについて

伊那市は、平成18年3月31日に伊那市と上伊那郡高遠町、同郡長谷村が合併して発足、面積667・81平方キロメートル、平成26年4月1日現在の人口は70074人、世帯数は26773世帯です。

公共下水道事業8処理区と農業集落排水事業14処理区、浄化槽市町村整備推進事業等14処理区の合計36の処理区を有し、平成25年度末で普及率85%、水洗化率83・7%（当市は普及率88・4%、水洗化率66・8%）です。

下水道の効率化と水洗化率の向上を目指して「下水道事業経営健全化計画」を平成21年11月に策定、供用開始から3年を経過しても接続しない市民を対象に職員を派遣して水洗化率の向上に努めています。

特に、下水道法では公共下水道供用区域内の接続義務を規定、供用区域となつて3年を経過した場合は自治体などの管理者が接続命令を出すことができます。この接続指導制度の導入は、全国では千葉市、八王子市に続いて伊那市が3例目となり、法的措置までの手順を条例で定めています。3年を経過した未接続世帯に対して通知や戸別訪問により指導、応じない場合は対象地の番地を公表し法的措置に移行、接続を促す規定となっています。

平成26年11月13日に所管事務調査を行いました。

阿賀野市産業経済振興条例について

本条例を基に策定された阿賀野市産業経済振興基本計画について、産業振興及び産業集積による地域経済活性化に向けて設定された「取組メニュー」5項目34事業の平成26年10月現在の実施内容について説明を受けました。

委員からは、瓢湖の駐車場脇にある特産品販売センターの利用状況や、瓢湖のハスの繁殖による白鳥やオニバスへの影響、東部産業団地での「太陽光発電パネル」の設置が進んでいることから今後の新規企業誘致への考え方などについて

閉会中の継続調査事項（3月定例会まで）
市発注工事の進捗状況について

以上のような施策を実施して下水道の普及と水洗化率の向上に努めているところであり、本市の水洗化率向上にあつても模範とすべき研修の成果がありました。



伊那市の説明を受ける委員

て質疑や意見があり、特に「地域の資源を活かす」取組メニューにおいては、生ごみの堆肥化や小水力発電、木質ペレット、BDF燃料の取組みなど課題にも直面していることから発想の転換や、進展しているその他の4項目の取組メニューと併せ、最終的には平成33年の基本計画の達成に向けて、常任委員会としての活動と全課局をあげての取り組みを求める意見が出されました。

議決結果

12月定例会（平成26年第6回 12月2日～11日）

		全会一致で議決した議案等	結果
人事		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて ・任期満了に伴い、引き続き阿部美佐さん（北園町）を法務大臣に推薦したい。 ・前任者の任期満了に伴い、後任として鈴木実さん（緑町）を新委員として法務大臣に推薦したい。 ・前任者の任期満了に伴い、後任として本多啓一さん（嘉瀬島）を新委員として法務大臣に推薦したい。	適任
専決	補正予算	平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第4号） 平成26年9月30日専決処分 歳入歳出それぞれ31万7千円を追加し総額221億5,274万3千円とする。平成26年度産米価の下落及び8月10日、11日発生台風11号の被害に伴い新潟県農林水産業振興資金、JAバンク新潟緊急農業経営安定対策資金の利子補給金を増額。	承認
		平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第5号） 平成26年11月21日専決処分 歳入歳出それぞれ1,961万8千円を追加し総額221億7,236万1千円とする。12月14日執行の衆議院議員総選挙に要する費用を増額。	承認
市長提出議案	予算	平成26年度阿賀野市一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ8億7,471万7千円を追加し総額230億4,707万8千円とする。水原郷病院整備基金積立金6億6千円、五頭山麓いこいの森長寿命化改修工事費400万円、来年度以降のマイマイガ発生抑制対策事業費293万円、県営湛水防除事業安野川5期工区内の土橋北遺跡発掘調査業務委託料1億2,042万円、歩行者や車両の安全な運行を確保する道路、施設等修繕料510万円等を増額。	可決
	補正	平成26年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ9,408万6千円を追加し総額45億7,180万5千円とする。実績報告等による療養給付費等国庫負担金及び調整交付金の返還金9,569万8千円等を増額し、前年度繰上充用金の不用額211万2千円を減額。	可決
	正算	平成26年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ3,021万4千円を追加し総額45億4,629万6千円とする。人事院勧告等による人件費及び訪問調査員の増員により472万8千円、介護給付費準備基金積立金592万9千円、前年度実績に伴う支払基金交付金等返還金1,053万円、平成25年度事務費確定等に伴う一般会計繰出金902万7千円等を増額。	可決
	算	平成26年度阿賀野市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2億1,899万6千円を減額し総額27億5,790万9千円とする。施設電気料300万円、公共下水道補助事業減による委託料2,100万円、工事請負費1億8,980万円、補償補填及び賠償金1,080万円等を減額し、人事院勧告等に伴う職員人件費79万円、前年度繰越金の確定による払戻金として一般会計繰出金3,816万8千円等を増額。	可決
		平成26年度阿賀野市集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1,112万1千円を追加し総額3億881万4千円とする。集落排水事業償還基金造成費83万4千円、前年度繰越金の確定による払戻金として一般会計繰出金1,028万7千円を増額。	可決
	平成26年度阿賀野市少年自然の家特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ127万4千円を追加し総額3,027万1千円とする。人事院勧告等による職員人件費56万円、平成25年度決算額の確定に伴う精算として一般会計繰出金71万4千円を増額。	可決	